

凡事徹底(縁)

八代第一中学校

生徒指導通心

第36号 2024. 3. 7 (木)

最後の目標：「卒業証書授与式」に、一中生徒としての最善最高の自覚と実践で臨む

校訓：一中生徒としての最善最高の自覚と実践 綱領：至誠貫徹・真理探究・耐久持続
学校教育目標：『みんなが安心して笑顔で過ごせる学校』
スローガン：『夢実現・自己実現』～笑顔と挑戦 一中プライド～

日本人の美しい心を大切に!!～歴史とは「人の生き様」から学ぶことです～

3年間の総まとめとして、三年生のみなさんへ最後の通心を書きます。みなさんが歩み出す社会は一見豊かで平和なものですが、実は一番厳しい時代に私たちは生まれてきたのかもしれない。楽であることは楽しいことばかりではなく、お金を儲けることだけが幸せではありません。世の中にはいろんな価値観があり、どれも優劣つけがたいものばかりです。このような中、前任校で3年生の担任をしていたときには、(みなさんが小学校2年生時)今でも忘れることのできない「熊本地震」が発生しました。新学期早々から不安の中で学校がスタートし、これまで当たり前だと思っていたものが、何気ない毎日が、いかに尊いものなのかと考えさせられました。みなさんと過ごした3年間も、コロナウイルス感染症の拡大によりたくさんの時間が失われるたびに、同様のことを考えていました。また、毎年、卒業式の日を迎える度に、2011年3月11日の「東日本大震災」のことを思い出します。この地震により、多くの尊い命が失われた出来事を風化させては決してなりません。また、翌12日の夜、アメリカでは、「被災地の住民たちは冷静で、自助努力と他者との調和を保ちながら礼儀さえも守っています。共に助け合っていくという共同体の意識でしょうか」と日本人のそうした態度が美徳として報じられていました。21世紀は、IT技術の革命を中心として、大きく変容を遂げるであろうことは間違いありません。しかし、どのように時代が変わろうと、何かをしたいという気持ちから日本中で励まし合い、同じベクトルを向いて進むという日本人の美しい心は忘れないで下さい。私達の郷土「日本」は、美しい自然、長い歴史と伝統、すぐれた文化や芸術に加え、人情味や義理がたさにあふれた美しい国です。日本人であることを誇りに思い、自分の信じる道を、大切な家族とともに、自分の足で歩いて欲しいと思います。たくさんの思い出がつまったこの学校とも、もうすぐお別れです。

人生は選択の連続です。ここから先は、自分の桜を自分の力で咲かせて下さい!



一日早いですが、卒業おめでとうございます。『夢実現・自己実現』を目指して本当によく頑張り、立派に成長することができました。明日はいよいよお別れの日になりました。3年前の4月にみなさんと出会ったのが、つい昨日のように思えます。コロナ禍の中、我慢を強いられる場面も多かったかと思いますが、本当に元気いっぱいな1年生でした。みなさんとは授業だけでなく、様々な場面でたくさん話をし関わってきました。勝先生は、そんな毎日が本当に楽しかったです。体育大会では、「勝翔笑(しょうさん)」のスローガンのもと、1.勝ちを追い求め、2.イマを翔け、3.笑顔を咲かせ、保護者の方や地域の方からも賞賛される一中生になりました。ここぞと言うときの団結力とみなさんの熱い姿勢には感動の連続でした。そんなバイタリティーにあふれるみなさんのよさを、新しい生活の中でも大いに発揮してほしいと思います。自分の殻を破り、本気で中間の事を考え、実行にうつしていくみなさんの行動力は、何事にも代え難い素晴らしいものでした。

素直でやさしさにあふれるみなさんへ。これからみなさんの歩む道は、決して平凡なことばかりではないかもしれませんが。様々な生き方と多様な価値観にあふれ、何が「正解」なのかさえ分かりづらいこれからの時代において、「正解」＝自分の生きる道をつくることのできるのは自分なのです。そのために必要なことは、「様々なことにチャレンジして視野を広げる」、「発想力を磨く」、「仲間づくり」、「思考力・判断力・行動力」を培うこと、つまり、「確かな学力」をつけることではないかと思います。このようなところにも、これから先の『学ぶ意味』があるのでないかと考えます。どんな時でも、みなさんが歩いた後には必ず道ができます。

最後に、みなさんが創り上げた第一中学校は、どこよりも居心地の良い空間で、たくさんの元気をもらいました。素敵な思い出、かけがえのない時間をありがとうございました。みなさんと過ごしたこの時間、みなさんの姿こそが私の一中プライドです。この出会いに感謝し、私もみなさんと一緒に、新しい人生にチャレンジします。心やさしいみなさんが、いつまでも健康で、自分らしさを大切に、素敵な人生を歩まれることを心より願っています。